

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	東大阪市集団給食研究会 児童養護施設 生駒学園	
取組の名称	給食だより	
実施時期	6 月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☒ 栄養成分表示への理解促進 ☒ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	1 週間ごとに給食だよりを作成し、毎週コラムを作成しています。 6 月は「歯と口の健康週間」「腐敗と食中毒」「熱中症を防ごう」「夏の食事」についてコラムを作成しました。 子どもたちには文章のみだと読みにくいと思い、イラストなどを使用し、分かりやすく読みやすいようにしました。 また献立では「ソースかつ丼」「和歌山ラーメン」などご当地メニューなども取り入れています。普段の食事とは違う新しい発見に気づいてくれたらと思っています。 (例 6 月 7 日～13 日のコラム)	
腐敗と食中毒 腐敗とは・・・微生物の増殖によって変色したり、ずっぱくなって、ニオイがする様になり食べられなくなる状態のこと。 食中毒とは・・・細菌やウイルスが付着した食品や有害・有毒物質が含まれた食品を食べることによっておこる健康被害のこと。 腐敗している食中毒菌はいない 腐敗して食中毒菌が増殖 食中毒菌が増殖腐敗はしていない 食中毒にならない 食中毒になる 食中毒になる 腐敗と食中毒は違います。腐敗していてもその中に食中毒菌やウイルスがいなければ、食べても食中毒にはなりません。しかし腐敗してなくても、食中毒菌が増殖している場合があります。 食中毒が起こった時、同じものを食べていてもなぜか平気な人がいます。これは「体の抵抗力」の違いです。普段から好き嫌いせず何でも食べる人は健康で細菌やウイルスに強いのです！！ (例 6 月 21 日～27 日のコラム)		
熱中症を防ごう～暑い日の約束～ ①帽子をかぶろう ②喉が渇いていなくても、こまめに水を飲もう ③無理をしないで休もう 水を飲むのは、どんなとき？ ～こまめに水を飲んでいくかチェックしよう～ ☐登下校の前 ☐食事中 ☐勉強中 ☐お風呂の前 ☐運動、外遊び ☐目覚め、ねる前 学校が遠い人や、暑い日には水を飲んでから出かけよう。 食べものの味がよくわかるよ。 眼を使う時にも水は必要だよ。 お風呂でも汗をかくね。 たくさん汗をかいたときには、あらかじめ水を飲んでおこう。 ねているあいだも汗と尿で水分が出ていくよ。ねる前と目覚めの1杯を忘れずに。		

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	社会福祉法人 東大阪市立社会福祉事業団 東大阪市立障害児者支援センターレピラ(はばたき園)	
取組の名称	食育月間・食育の日 「旬の食材を使って～夏野菜ミートスパゲッティー～」	
実施時期	2026年6月19日	
取組みの目的	■共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ■栄養バランスの良い食事の摂取 ■野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	■よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	【目的】 ・みんなで食べることの喜びやおいしさを共感し、食べる意欲を育む。 ・旬の食材を知る。 ・子ども達が好きな料理に取り入れ、自ら食べる意欲を促す。 【対象者】 ・はばたき園の園児と職員 【取り組み】 ・食育の日に伴い、少し早い夏野菜(茄子・トマト・ピーマン)を使用して、「夏野菜ミートスパゲッティー」を提供した。 ・野菜が苦手な子ども達も、好きな味付けや親しみのあるスパゲッティーに入っていることで自ら食べようとする姿が見られた。 ・当日は、施設栄養士・委託栄養士が食べている様子をラウンドし、「おいしいね!」「ピーマン初めて食べれたよ!」など様々な感想が聞けた。	



食育月間の取り組み

取組団体・施設名	社会福祉法人 東大阪市立社会福祉事業団 東大阪市立障害児者支援センターレピラ(はばたき園)	
取組の名称	食育月間「菜園で収穫した野菜を使って～手作りはばたきコロッケ」	
実施時期	2026年6月2日・9日・16日	
取組みの目的	■共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	■よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ■農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	【目的】 ・みんなで食べることの喜びやおいしさを共感し、食べる意欲を育む。 ・自分達が育てた食材を料理(調理)してくれ、「おいしいね！」と食べてくれる大人がいることを知る。 【対象者】 ・はばたき園の園児と職員 【取り組み】 ・子ども達が育て、収穫した「じゃがいも」を使用し、「コロッケ」を提供。 ・給食の献立とは別枠で提供し、特別感を出した。 ・提供の際に、給食室よりお手紙をつけることで、食べることが苦手でも、触ってみたり、匂いをかいでみたりと食への興味がわくように工夫した。 ・「おいしいね！」「コロッケかわいいね！」など様々な感想を伝えてくれて、喜んでくれた。	



食育月間の取り組み

取組団体・施設名	社会福祉法人 東大阪市立社会福祉事業団 東大阪市立障害児者支援センターレピラ(はばたき園)	
取組の名称	食育月間「菜園で収穫した野菜を使って～ハッシュドポテト～」	
実施時期	2026年6月18日	
取組みの目的	■共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	■よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ■食品の安全性に関する知識の普及 ■農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	【目的】 ・みんなで食べることの喜びやおいしさを共感し、食べる意欲を育む。 ・自分達が育てた食材を料理(調理)してくれ、「おいしいね！」と食べてくれる大人がいることを知る。 【対象者】 ・はばたき園の園児と職員 【取り組み】 ・子ども達が育て、収穫した「じゃがいも」を使用し、「ハッシュドポテト」を提供。 ・給食の献立とは別枠で提供し、特別感を出した。 ・提供の際に、給食室よりハッシュドポテトのPOPにメッセージを記載。 ・4種類に型抜きしたハッシュドポテトを見て、子ども達は大喜びの様子だった。 ・7月の給食だよりも、レシピを掲載し、家庭での食育へ繋げた。	

